



はぐくみ

<編集・発行>

高松市教育委員会教育局

少年育成センター

高松市番町一丁目8番15号

Tel (087) 839-2635

E-mail ikusei@city.takamatsu.lg.jp

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校の臨時休業により、子どもたちの生活が大きく制限され、ストレスの蓄積や友だちとの関わりの減少等が心配です。

子どもたちのために、「今、何をすればよいか。」「私たちに何ができるのか。」を真剣に考えて、取り組んでいくことが必要だと実感しています。もちろん大人である私たちもたいへんなのですが、子どもたちが明るい未来に希望を抱くことができるように、私たち大人の知恵や工夫と実行力を発揮すべき時だと思います。

高松市少年育成センター所長 井村 新一

子どもの安全確保活動

青色パトロールカーで、巡回しています！

小学校の下校時間にあわせて、市内を10ブロックに分けて、ほぼ毎日2~3ブロックずつ巡回しています。



「いくせい」号



「はぐくみ」号



「すこやか」号

子ども安全パトロール

市の公用車にも、左のステッカーを貼って、運行しながら見守りをしています。



各地域でも青色パトロールカーや「見守り隊」(ボランティア)による巡回や立哨指導を行っています。



スクールガード・リーダーによる見守りをしています！

警察官OBの4名が、市内の小学校・こども園・幼稚園で、登下校時の見守りや、学校(園)の施設・通学路の安全確認、不審者対応の指導・助言などをしています。

令和2年度 スクールガード・リーダーの皆さん



中川 博志さん



久保 郁也さん



福森 義隆さん



天野 正雄さん



気軽に声をかけてください。

今年も「情報モラル教育推進事業」に取り組みます

情報モラル出前授業も6年目となりました。授業ではインターネットの長所と短所・危険な面を知り、安全・安心に利用するために、子どもたちが守るべき3つの約束を確認し意識付けることで家庭でのルール作りにつなげています。また、授業後、保護者に配布するリーフレットでは保護者が行うべき3つの実践を紹介し、家庭でのルール作りが大切だということを訴えています。昨年度からネット・ゲーム依存を早期から防ぐための対策を出前授業の内容や保護者啓発に取り入れて実施しています。

今年度は現在の低年齢化の実態を踏まえ、新たに小学校3年生も対象に加えた出前授業を核とした情報モラル教育推進事業に継続的に取り組んでいます。



出前授業の様子

情報モラル教育推進事業

＜取組1＞携帯電話・スマートフォンの持ち始めの時期である**小学3・4年生を対象とした情報モラル教室の実施**

出前授業の中でルール作りを取り上げ、子どもが主体的にルール作りに取り組めるように配慮する

＜取組2＞**情報モラル教室とセットでの保護者啓発リーフレットの配布**（子どもを通した保護者啓発）

出前授業とつなげ、リーフレット内にあるルール作りを子どもから保護者に働きかけることで、関心の薄い保護者にも関わってもらおう

家庭でのルール作り

ゲーム機の使用制限機能や携帯電話の具体的なフィルタリングの設定等のペアレンタルコントロールについて記載



保護者向け啓発リーフレット

万引き防止事業

万引きは非行の入り口といわれる初発型非行です。早い段階から非行の兆候を見逃さないよう保護者へのリーフレットを作成し小学生全員に配布しています。

また、市少年育成委員とも連携して、万引き防止キャンペーンを実施し啓発しています。



万引き防止リーフレット

＜主な事業内容＞

- ・万引き防止リーフレットの配布
- ・万引き防止啓発用品の作成と配布
- ・万引き防止キャンペーンの実施
(関係団体と連携して実施しています。)



万引き防止啓発用品デザイン



万引き防止キャンペーン

ネット・ゲーム依存対策



家族でチャレンジ！「ノーメディア」

情報化の急速な進展による環境の中で情報機器は、必要不可欠なものになっています。これらの機器を上手に活用するために、市内の小・中学生を対象に『ノーメディアデー（ウィーク）』を設定し、家庭で話し合い「わが家のルール」を決めたり、生活習慣を見直したりして、家族の時間の確保に努め、ネット依存の防止や自己管理能力の育成とともに『温かい家庭づくりにつなげる』取組を実践しています。

【実践内容】

○ ワークシート（チャレンジシート）

- ・ ノーメディアの実施とともに、目標を家庭の事情に合わせて設定し実践する。
- ・ 保護者への協力依頼文を配布し、家庭の実情に合わせて無理のない取組とする。

○ わが家のルール（記入用紙）

- ・ 家庭で話し合っ、達成可能な「ルール」を決め、用紙に記入する。
- ・ 継続して実践できるように、よく見えるところに貼って、常に意識付けをする。

○ 啓発チラシ（家族でチャレンジ！「ノーメディア」）

- ・ 学校で配布し内容を説明する。また、保護者に周知して家庭での協力依頼を行う。
- ・ 自分自身の生活を見直すことや、家族とのふれあう機会の手だてにする。

○ 学校での取組

- ・ 学校だよりや保健だより、PTA メール等を活用して積極的に啓発を行う。
- ・ 子どもや保護者向けの情報モラル教育の講演会や研修会を開催する。

【令和元年度実践しての意見】

- ・ 自由な時間が増え、家族と一緒に遊んだり運動ができた。
- ・ メディア利用の時間が減り、勉強や読書などに集中できた。
- ・ 兄弟で目標設定して一緒に行き、お互いが意識してルールが守れた。
- ・ 家族との会話が増え、コミュニケーションがよく回った。

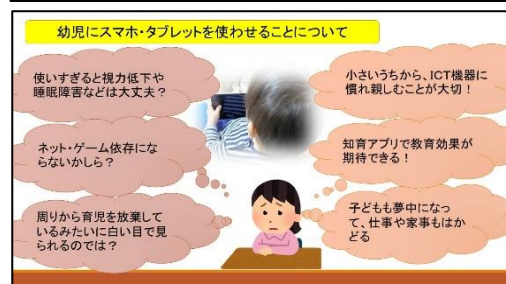
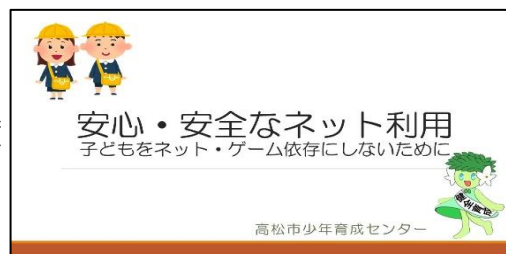


未就学児の保護者への啓発

インターネット利用の低年齢化に伴い、令和2年度から未就学児（幼稚園・こども園）の保護者を対象に「安心・安全なネットの利用」について講話を始めました。

<主な内容>

- ・ 子育てにおけるスマホ・タブレットのメリット
- ・ 子育てにおけるスマホ・タブレットのデメリット
- ・ 安心・安全なネット利用のために
- ・ お願い（相談機関と治療機関）



「育実ちゃん」着ぐるみ貸出・イラスト利用

高松市青少年健全育成キャラクター「育実ちゃん」の着ぐるみの貸出を行っています。新型コロナウイルスの影響でなかなかむずかしいと思いますが、健全育成に関する啓発活動ができるようになりましたら、是非、御活用ください。

また、「育実ちゃん」のイラスト(16パターン)も御利用いただけます。名刺のワンポイントに、行事や募集などのチラシにいかがでしょうか。



着ぐるみ「育実ちゃん」



詳しくは、少年育成センターHPをご覧ください。少年育成センターまでお問い合わせください。皆様からのお問い合わせをお待ちしています。

相談活動「こどもスマイルテレホン」

今年は予期せぬ臨時休業や夏休みの短縮で、勉強の悩みやストレス、不安な気持ちを抱える人が増える人が多いかもしれません。

友だちや学校生活、子育てのことなどで、困っていることはありませんか？ひとりで悩まず誰かに聞いてもらうだけで、気持ちが軽くなったり解決のきっかけになったりすることもあります。

少年育成センターでは、電話（こどもスマイルテレホン）や来所による相談を受け付けています。また、必要に応じて専門機関を紹介しますのでお気軽に御相談ください。



環境浄化活動

有害図書やDVD等を回収・廃棄する環境浄化活動は、青少年の健全育成において重要な活動の一つであり、現在、市内13か所に白ポストを設置し、少年育成センターの職員が回収にあたっています。

昨年度は、不用図書等を含め、約3,700点を回収しました。



【白ポスト設置場所】

- ・JR 高松駅・JR 屋島駅・JR 鬼無駅・ことでん瓦町西側ペDESTリアンデッキ2F
- ・ことでん一宮駅・ことでん仏生山駅（西側出入口に移設しました）・中央公園南東入口
- ・高松競輪場東側・太田中央コミュニティセンター・川島コミュニティセンター
- ・国分寺総合センター・牟礼総合センター・香川総合センター（計13か所）